



タキイ育成

リーフレタス

「アイスルージュ」

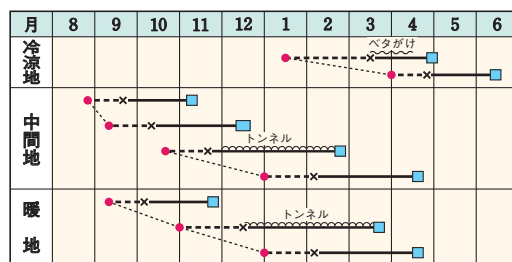
鮮やかな赤色で伸長性にすぐれる低温期向けレッドリーフ！

農林水産省品種登録出願中（品種名…TEXLE191020）

タキイ熊本研究農場
喜多村 直人

ポイント

- ✓ さび症が発生しにくい
- ✓ 低温期でもボリュームが出る
- ✓ 草姿立性で作業性にすぐれる
- ✓ 根腐病レース1・2複合耐病性



レタスはサラダや料理の添え物には欠かせない存在で、中でもレッドリーフレタスはその鮮やかな葉色のコントラストが、ひととき食卓を華やかに彩ってくれます。一方で、天候などの外部環境の影響を受けやすく、生産量が不安定になりやすい品目の1つです。

レッドリーフにおいては曇天や寡日照条件が続く場合に色づきの悪いものが出荷されることがあり、中間・暖地の年内どり、早春どり、冷涼地の春どりなど日較差の大きい作型の収穫では、葉柄基部に発生する亀裂褐変（さび症）の発生による品質低下がしばしば問題となっていました。

そこで、低温期の幅広い作型で栽培しやすく、高品質出荷が可能なレッドリーフ品種を目標として開発育成を進め、今回「アイスルージュ」として新発表することとなりました。

「アイスルージュ」は「葉先の赤色と株元の緑色とのコントラストが美しく、さび症などの生理障害に強い」、「低温伸長性にすぐれ、草姿立性で収穫時の箱詰め作業が容易」などの特長を有します。品種特性、適作型、栽培ポイントなどを紹介しますので品種導入の参考にしていただければと思います。

品種特性

低温期の幅広い時期に 高品質出荷が可能

結球期や年内どりや早春どりなどの日較差が大きい作型で問題になりやすい、さび症などの生理障害が発生しにくく栽培が容易です。また、葉先の赤色と株元の緑色とのコントラストが鮮やかな品種です。生育は旺盛で芯葉の伸びがよく、低温期にボリュームのある高品質なレッドリーフが継続的に出荷できます。

草姿立性で収穫・出荷作業が容易

草姿は立性で葉質はしなやかです。筋がねじれにくく、形状が安定するため、収穫時に葉折れの心配が少なく、出荷時の箱詰め作業が容易です。

複合耐病性

根腐病レース1・2に複合耐病性をもちます。また、冷涼多湿環境で発生しやすいべと病に対しても耐病性を示します。※べと病は、レースによって発病する場合があります。

■2022年11月 場所：福岡県 ※当社調べ



他品種 「アイスルージュ」

上：「アイスルージュ」は他品種に比べて、さび症の発生が少ない傾向がみられる。
下：「アイスルージュ」の草姿は立性で作業性にすぐれる。

「アイスルージュ」、「フレアージュ」、 「サマールージュ」の リレー出荷で幅広い時期の高品質生産を！

「アイスルージュ」

芯葉伸びがよく伸長性とボリュームにすぐれ、低温期の幅広い栽培に適します。結球期や年内どりや早春どりなどの日較差が大きい作型で発生しやすいさび症にも強く、高品質出荷が可能です。根腐病レース1・2にも複合耐病性でべと病に対しても比較的耐病性を示します。

「フレアージュ」

晩抽性にすぐれ葉が肉厚で各種地上部病害にも強いいため、気温が高く雨の多い作型で特に能力を発揮します。「アイスルージュ」同様、根腐病レース1・2にも複合耐病性をもち、発生が懸念される圃場でも栽培可能です。

「サマールージュ」

高温期の栽培に適し、早生性^{ばんちゆう}と晩抽性を併せもつ品種です。生育は旺盛で、特に高温期にボリュームを求める栽培に適します。

栽培ポイント

1 高品質生産のための 適期栽培・適期収穫

「アイスルージュ」は低温期の栽培に適した品種で、高温期での栽培では抽苔に伴う品質低下を招く恐れがあります。特に秋の早まきや春の遅まきには注意して適期での播種を行います。

また、草丈がやや長めの品種なので、収穫遅れに伴う草丈の伸び過ぎには注意し、適期収穫による高品質出荷を心掛けてください。

2 生育をスムーズに

低温期の栽培は生育日数が長く、初期からスムーズに生育を進めることが重要です。元肥主体で速効性の肥料を施し、適期での整地・マルチングで圃場を適湿

に保ちます。若苗定植を心掛け、定植後は灌水を行って活着を促進し、干ばつ時は早めの灌水で生育が停滞しないように管理しましょう。

3 凍霜害対策

低温期の栽培で凍霜害の発生が懸念される場合は、トンネルやベタ掛け資材を用いた被覆管理を行ってください。特に中間・暖地の冬、厳寒期どり栽培ではトンネル栽培が基本となります。トンネル被覆開始は平均気温10℃を目安とし、日中は25℃を目安に換気します。

4 諸病害への対策

灰色かび病、菌核病など諸病害に対しては生育初期から薬剤散布による予防除を行うことが大切です。また、風雨で

「アイスルージュ」栽培メモ

肥料の目安 (10a当たり)	暖地：冬・厳寒期どり、中間地：早春どり N : P : K = 15~25kg 上記作型以外 N : P : K = 10~15kg
定植基準 (株/10a、 畝間、 株間など)	全面マルチ栽培：畝幅45cm、株間25cm前後 多条栽培：畝幅150~180cm、2~4条植え、 株間25~30cm、条間30~40cm
栽培 ポイント	●中間・暖地の冬、厳寒期どり栽培ではトンネル栽培が基本。 ●トンネル被覆開始は平均気温10℃を目安とし、 日中は25℃を目安に換気する。

葉が傷んだ場合にも、速やかに薬剤散布を行うことで病害の進展を予防します。